

平成30年度 第2回 三浦市在宅医療・介護多職種連携研修

厚生労働省の2015年1月の発表によると、日本の認知症患者数は2012年時点で約462万人、65歳以上の高齢者の約7人に1人と推計されています。

そして、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症患者数は700万人前後に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人となる見込みです。

医療機関を受診して認知症と診断された人だけでもこの数字ですから、症状はすでに出ているのにまだ受診していない人も含めると、患者数はもっと増えていくと考えられます。今後高齢化が進展するにつれ、認知症の患者数がさらに膨らんでいくことは確実です。

厚生労働省は、認知症の方の在宅生活を支えるため、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の配置を2015年度から進めてきました。糖尿病疾患のある認知症の人は、インスリン自己注や内服薬の自己管理に大きな不安が生じています。

そのような認知症の人の日常をどう支援するかの視点について、知識深めていきましょう。

今回のテーマは

生活習慣病（糖尿病）のある認知症状が進行する人の支援について～ふれんどりーな関係を作るために～

日 時 平成31年3月15日（金）19時～21時30分（解散）

場 所 ホテルマホロバマインズ三浦 本館13階 会議室

対 象 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・栄養士・歯科衛生士・介護支援専門員・介護福祉士・介護職・社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉主事・その他必要とする関係者

定 員 50名（先着順）

主 催 三浦市

主 管 一般社団法人三浦市医師会

共 催 鎌倉保健福祉事務所三崎センター

協 力 三浦市地域ケア連携会議



内 容

- 進 行 三浦市医師会 理事 藁谷 收 先生（三浦診療所院長）
- テ ー マ 生活習慣病（糖尿病）のある認知症状が進行する人の支援について
～ふれんどりーな関係を作るために～
- 講 義



講 師
医療法人社団ゆるぎない愛の会
中島内科クリニック
院長 中島 茂 先生

【略歴】

東京教育大学理学部理学研究科博士課程を修了後、横浜市立大学医学部卒業。
藤澤市民病院内科、横浜市立大学医学部附属浦舟病院第3内科部長（現横浜市立大学附属市民総合医療センター）、横須賀共済病院内科部長・栄養部長を経て、平成15年に中島内科クリニックを開設。

【専門】

運動療法、心理療法

【趣味】

読書・ヨガ・ピラティス・タンゴ・社交ダンス等

- グループワーク
- 質疑応答



参加申込 別紙申込書用紙に、必要事項を記入の上、FAXで、下記あてお申込みください。なお、電子メールにてご案内を希望される方は、お問い合わせ先電子メールに空メールを送信してください。

申込期限 平成31年2月28日（木）

※申込期限前でも、先着50名になり次第締め切りとさせていただきます。

問い合わせ及び申し込み先

一般社団法人 三浦市医師会事務局

TEL : 046-881-2376

FAX : 046-881-2392

E-mail : me156301@pastel.ocn.ne.jp